



2024年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2023年11月14日

上場会社名 株式会社デルソーレ 上場取引所 東
コード番号 2876 URL <https://www.del-sole.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大河原 泰
問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 印部 修一 (TEL) 03(6736)5678
四半期報告書提出予定日 2023年11月14日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第2四半期の業績（2023年4月1日～2023年9月30日）

(1) 経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第2四半期	9,257	12.0	900	237.7	916	179.9	606	188.4
2023年3月期第2四半期	8,262	10.4	266	△12.7	327	△45.4	210	△46.2

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第2四半期	68.15	—
2023年3月期第2四半期	23.24	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第2四半期	11,191	6,635	59.3
2023年3月期	11,029	6,081	55.1

(参考) 自己資本 2024年3月期第2四半期 6,635百万円 2023年3月期 6,081百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	0.00	—	10.00	10.00
2024年3月期	—	0.00	—	—	—
2024年3月期(予想)	—	—	—	12.00	12.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 2024年3月期の業績予想（2023年4月1日～2024年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	18,000	6.6	1,200	187.2	1,200	132.6	750	147.5	84.22

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2024年3月期2Q	9,105,290株	2023年3月期	9,105,290株
2024年3月期2Q	200,192株	2023年3月期	200,192株
2024年3月期2Q	8,905,098株	2023年3月期2Q	9,053,731株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期貸借対照表	5
(2) 四半期損益計算書	7
(3) 四半期キャッシュ・フロー損益計算書	8
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(持分法損益等)	9
(セグメント情報)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間（以下「当第2四半期」という。）におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の「5類移行」による経済活動の正常化に伴い、緩やかに回復しつつあります。一方で、原材料・資源価格の高騰、円安進行による物価上昇や不安定な国際情勢の長期化等、依然として予断を許さない状況が続いております。

食品・外食業界におきましては、節約志向が根強い市場環境の下で、原材料価格に加え、人件費、物流費、光熱費等の高騰により収益の圧迫が続いております。こうした諸コストのさらなる上昇も見込まれている中、経営環境は厳しさを増しており、先行きの不透明感も高まっております。

このような経営環境の中で、当社は2023年度（2024年3月期）から2026年度（2027年3月期）までの事業運営に関する「中期経営計画2026」を策定し、経営理念である「食と食の文化を通じてお客様に満足と幸せを提供する」ことを一貫して追い求め、「食の安全・安心」を第一に掲げて、「“おいしい”で世界をつなぐ」をミッションに、業績の向上と財務体質の改善を図り、経営基盤の強化に取り組んでまいりました。

この結果、当第2四半期の売上高は9,257百万円（前年同四半期比12.0%増）、営業利益は900百万円（同237.7%増）、経常利益は916百万円（同179.9%増）、四半期純利益は606百万円（同188.4%増）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

食品事業

食品事業におきましては、食品スーパー、生協等の小売市場における急速な価格転嫁により消費者の生活防衛意識が高まり、家庭用分野では食料品の買い控えといった現象が顕著に現れております。一方で、経済活動の正常化に伴う人流や消費活動の回復により、主要販売先である業務用分野は堅調に推移いたしました。

このような状況の中、業務用の主力である外食業界をはじめ、スーパー惣菜・ベーカリー市場の強化、家庭用冷凍ピザの新商品発売等、積極的に家庭用市場の開拓を進めるとともに、コロナ渦により希薄になりがちであった取引先との関係強化、及び展示会への積極的な参加等による新規販路の獲得に努めてまいりました。来年（2024年）の創業60周年を記念して、これまで培った技術やノウハウを結集して開発した本格冷凍ピザ「THE PIZZA」2品を発売しました。また、当社の主力商品であるトルティーヤ、ピタパンを活用した、時短向上と食品ロス削減に資する「#おうちロスプロジェクト」を開始し、レシピ動画サイトやYouTubeを通じて発信いたしました。

海外ビジネスについては、北欧リトアニアの海外パートナー企業との連携を深めヨーロッパの本格的な冷凍パンの販売を強化するとともに、アメリカ産冷凍チーズの販売も積極的に推進しております。また輸出については海外からの引き合いも増加しており、円安を追い風に取引を加速させ、今後は当事業の重要な柱として育成してまいります。

販売管理面では、売上規模に見合った在庫水準の適正化や、物流効率化の取り組み等を引き続き進めております。

この結果、当第2四半期の売上高は7,793百万円（前年同四半期比12.1%増）、セグメント利益は1,214百万円（同81.9%増）となりました。

外食事業

外食事業におきましては、オフィス立地の集客が回復しつつある一方で、原材料価格の高騰に加え、人手不足による採用コストの増加やパート時給の上昇等により、依然として厳しい経営環境が続いております。

このような状況の中、当社は引き続き食材ロス低減に取り組み、人員配置の最適化や在庫管理、家賃の減免等、徹底したコストコントロールを実施するとともに、テイクアウトブランドの強化と不採算店舗の整理による収益改善に注力してまいりました。なお、第1四半期で閉店した居酒屋・レストラン業態の6店舗のうち1店舗については、今後収益が見込めると判断し営業再開へ変更いたしました。

引き続き、テイクアウトブランド「京鳥」（焼き鳥・鶏惣菜）、「おめで鯛焼き本舗」を当事業における成長ドライバーとして位置づけ、第1四半期の4店舗の出店に続き、9月に「おめで鯛焼き本舗東武動物公園店」を出店いたしました。

この結果、当第2四半期の売上高は1,471百万円（前年同四半期比11.8%増）、セグメント利益は21百万円（前年同四半期はセグメント損失20百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

(資産の部)

当第2四半期会計期間末(以下「当第2四半期末」という。)における総資産は、前事業年度末(以下「前期末」という。)から162百万円増加し、11,191百万円となりました。流動資産合計は、現金及び預金が357百万円減少した一方、売掛金が996百万円増加したこと等により、610百万円増加し6,616百万円となりました。固定資産合計は、有形固定資産合計が109百万円、投資その他の資産合計が341百万円それぞれ減少したこと等により、448百万円減少し4,575百万円となりました。

(負債の部)

当第2四半期末における負債合計は、前期末から391百万円減少し、4,556百万円となりました。流動負債合計は、短期借入金が450百万円増加した一方、支払手形及び買掛金が341百万円、1年内返済予定の長期借入金が200百万円、役員退職慰労引当金が405百万円それぞれ減少したこと等により、410百万円減少し3,164百万円となりました。固定負債合計は、資産除去債務が25百万円増加したこと等により18百万円増加し、1,392百万円となりました。

(純資産の部)

当第2四半期末における純資産は、前期末から553百万円増加し、6,635百万円となりました。配当金の支払いによる89百万円の減少の一方で、四半期純利益606百万円の計上により、利益剰余金は517百万円増加しました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)の残高は、前事業年度末に比し357百万円減少し、1,292百万円となりました。

当第2四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果支出した資金は、前年同期と比較して531百万円増加し、594百万円となりました。これは主に役員退職慰労引当金の減少額391百万円、売上債権の増加額996百万円、仕入債務の減少額341百万円による資金の減少と、税引前四半期純利益902百万円、減価償却費176百万円による資金の増加によるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によって得られたキャッシュ・フローは、前年同期と比較して127百万円増加し、103百万円となりました。これは主に保険積立金の解約による収入179百万円による資金の増加と、有形固定資産の取得による支出72百万円、資産除去債務の履行による支出32百万円による資金の減少によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によって得られたキャッシュ・フローは、前年同期と比較して378百万円増加し、133百万円となりました。これは短期借入金の純増加額450百万円による資金の増加と、長期借入金の返済による支出230百万円、配当金の支払額86百万円による資金の減少によるものです。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社は、最近の業績を踏まえ、2023年8月14日に公表した2024年3月期の通期業績予想につきまして、下記のとおり修正しましたので、お知らせいたします。

2024年3月期通期業績予想 (2023年4月1日～2024年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 17,500	百万円 800	百万円 800	百万円 480	円 銭 53.90
今回修正予想 (B)	18,000	1,200	1,200	750	84.22
増減額 (B - A)	500	400	400	270	—
増減率 (%)	2.9	50.0	50.0	56.3	—
(参考)前期実績	16,893	417	515	302	33.74
(参考)前期増減率 (%)	6.6	187.2	132.6	147.5	—

(修正の理由)

当第2四半期累計期間におきましては、経済活動の正常化に伴う人流や消費活動の回復により、食品事業は主要販売先である業務用分野を中心に堅調に推移、外食事業もオフィス立地店舗の集客の回復等を背景に、売上高は両事業とも前年同期を上回る基調となっております。利益面については、価格改定効果に加え、食品事業における生産効率の向上等による原価低減が着実に進んでおり、各段階利益とも前回予想を上回る結果となりました。

今後の原材料価格や消費動向等是不透明ではありますが、現在の事業環境を踏まえ、2024年3月期の業績予想を上記のとおり修正いたしました。

(注) 上記の業績予想は、現時点において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績等は、今後の様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2023年3月31日)	当第2四半期会計期間 (2023年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,649,350	1,292,304
売掛金	2,702,163	3,698,383
商品及び製品	973,340	1,023,480
原材料及び貯蔵品	506,657	431,368
その他	174,035	170,775
流動資産合計	6,005,546	6,616,311
固定資産		
有形固定資産		
建物	4,480,127	4,403,270
減価償却累計額	△3,209,035	△3,137,068
建物(純額)	1,271,091	1,266,202
機械及び装置	3,502,874	3,520,755
減価償却累計額	△2,146,568	△2,262,046
機械及び装置(純額)	1,356,305	1,258,709
その他	1,440,271	1,414,057
減価償却累計額	△493,923	△474,753
その他(純額)	946,348	939,303
有形固定資産合計	3,573,746	3,464,215
無形固定資産	10,106	12,626
投資その他の資産		
その他	1,441,508	1,099,975
貸倒引当金	△1,250	△1,250
投資その他の資産合計	1,440,258	1,098,725
固定資産合計	5,024,111	4,575,567
資産合計	11,029,657	11,191,879
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,088,181	1,746,814
短期借入金	-	450,000
1年内返済予定の長期借入金	260,000	60,000
未払法人税等	42,711	183,337
賞与引当金	141,355	102,164
役員退職慰労引当金	405,048	-
資産除去債務	102,599	16,899
その他	534,456	605,121
流動負債合計	3,574,351	3,164,336
固定負債		
長期借入金	210,000	180,000
退職給付引当金	530,476	538,106
役員退職慰労引当金	220,094	233,463
資産除去債務	375,488	400,499
その他	37,442	39,942
固定負債合計	1,373,502	1,392,012
負債合計	4,947,853	4,556,348

(単位：千円)

	前事業年度 (2023年3月31日)	当第2四半期会計期間 (2023年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	922,939	922,939
資本剰余金	1,259,205	1,259,205
利益剰余金	3,965,977	4,483,796
自己株式	△87,436	△87,436
株主資本合計	6,060,685	6,578,504
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	21,118	57,026
評価・換算差額等合計	21,118	57,026
純資産合計	6,081,804	6,635,531
負債純資産合計	11,029,657	11,191,879

(2) 四半期損益計算書

第2四半期累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
売上高	8,262,255	9,257,503
売上原価	5,104,218	5,553,878
売上総利益	3,158,036	3,703,624
販売費及び一般管理費		
給料手当及び福利費	796,509	771,063
賞与引当金繰入額	70,249	67,802
退職給付費用	24,423	17,103
役員退職慰労引当金繰入額	20,327	18,321
荷造運搬費	716,907	666,822
その他	1,262,907	1,261,728
販売費及び一般管理費合計	2,891,324	2,802,842
営業利益	266,712	900,782
営業外収益		
受取利息	4	9
受取配当金	15,634	8,824
受取手数料	411	417
受取賃貸料	1,267	180
受取保険金	-	8,728
助成金収入	41,754	-
その他	7,631	5,117
営業外収益合計	66,703	23,276
営業外費用		
支払利息	2,027	2,223
支払保証料	3,377	3,377
保険解約損	-	1,764
その他	548	247
営業外費用合計	5,954	7,612
経常利益	327,462	916,446
特別損失		
店舗閉鎖損失引当金繰入額	-	12,710
固定資産売却損	505	-
固定資産除却損	-	1,595
特別損失合計	505	14,305
税引前四半期純利益	326,957	902,141
法人税、住民税及び事業税	64,282	145,738
法人税等調整額	52,222	149,534
法人税等合計	116,505	295,272
四半期純利益	210,451	606,869

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	326,957	902,141
減価償却費	229,953	176,534
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△37,187	7,629
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	20,327	△391,679
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△39,126	△39,190
受取利息及び受取配当金	△15,638	△8,834
支払利息	2,027	2,223
保険解約損益 (△は益)	-	1,764
固定資産除却損	-	1,595
売上債権の増減額 (△は増加)	△360,645	△996,219
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△225,748	25,149
仕入債務の増減額 (△は減少)	362,430	△341,367
未払消費税等の増減額 (△は減少)	-	68,728
固定資産売却損益 (△は益)	505	-
受取保険金	-	△8,728
助成金収入	△41,754	-
その他	△100,946	△7,944
小計	121,153	△608,197
利息及び配当金の受取額	15,638	8,834
利息の支払額	△1,984	△2,075
保険金の受取額	-	8,728
助成金の受取額	57,453	-
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△254,791	△1,565
営業活動によるキャッシュ・フロー	△62,530	△594,276
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△27,349	△72,472
有形固定資産の売却による収入	5,820	-
敷金及び保証金の差入による支出	△2,835	△345
敷金及び保証金の回収による収入	2,412	30,837
資産除去債務の履行による支出	-	△32,994
保険積立金の解約による収入	-	179,370
その他	△1,431	△627
投資活動によるキャッシュ・フロー	△23,384	103,767
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	-	450,000
長期借入金の返済による支出	△50,000	△230,000
自己株式の取得による支出	△87,792	-
配当金の支払額	△107,188	△86,537
財務活動によるキャッシュ・フロー	△244,980	133,462
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△330,895	△357,045
現金及び現金同等物の期首残高	1,597,615	1,649,350
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,266,719	1,292,304

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(持分法損益等)

	前事業年度 (2023年3月31日)	当第2四半期会計期間 (2023年9月30日)
関連会社に対する投資の金額	－千円	－千円
持分法を適用した場合の投資の金額	－千円	－千円
	前第2四半期累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
持分法を適用した場合の投資利益の金額	2,636千円	－千円

(注) 関連会社でありました株式会社元町珈琲の株式について、2022年11月に当社が保有する全株式を売却したため、同社は関連会社ではなくなっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント		合計
	食品事業	外食事業	
売上高			
一時点で移転される財又はサービス	6,945,578	1,303,134	8,248,713
一定の期間にわたり移転される財又はサービス	－	13,541	13,541
顧客との契約から生じる収益	6,945,578	1,316,676	8,262,255
外部顧客への売上高	6,945,578	1,316,676	8,262,255
セグメント間の内部 売上高又は振替高	6,790	－	6,790
計	6,952,369	1,316,676	8,269,045
セグメント利益又は損失(△)	667,347	△20,692	646,654

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	646,654
全社費用(注)	△319,790
棚卸資産の調整額	92
四半期損益計算書の税引前四半期純利益	326,957

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

II 当第2四半期累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント		合計
	食品事業	外食事業	
売上高			
一時点で移転される財又はサービス	7,785,962	1,459,027	9,244,989
一定の期間にわたり移転される財又はサービス	—	12,513	12,513
顧客との契約から生じる収益	7,785,962	1,471,541	9,257,503
外部顧客への売上高	7,785,962	1,471,541	9,257,503
セグメント間の内部 売上高又は振替高	8,004	—	8,004
計	7,793,966	1,471,541	9,265,507
セグメント利益	1,214,011	21,682	1,235,693

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	1,235,693
全社費用(注)	△333,518
棚卸資産の調整額	△33
四半期損益計算書の税引前四半期純利益	902,141

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。